



# 和小だより

弟子屈町立和琴小学校

1月31日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

## ■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



## 子どもたちの成長を願って

校長 大山 道弘

寒に入り、寒さがひとしお厳しくなってきました。今年度は夏休みが30日間と長かった分、冬休みは20日間と昨年よりも短く、あっという間に3学期が始まりました。子どもたちは、元気に学校に戻ってきました。

冬休み中は旅行に出かけられた家庭もあったと思います。「旅行に行こう!」と考えたら、何をしますでしょうか。ほとんどの人は、まず行き先を決めると思います。そして、どのようなルートで目的地に行くか交通手段を考えるでしょう。それから、何を観るのか何を体験するのかを考えたり、何を食べようかとその土地ならではのグルメを調べたりすることでしょう。何を着ていこうか悩むのも楽しい時間です。徐々に計画ができあがっていくと、次第にわくわくした気持ちになり旅行への期待感も膨らんでいきます。そして旅行当日、立てた計画を頭に入れて(メモも持って)出発します。もちろん、しっかり計画を立てているので、見通しをもちながら安心して旅行を楽しむことができます。旅行中も、予定通りに観光や体験をし、美味しいものを食べ、お土産を買って満足感に浸ります。家に帰ってきたら、「楽しかった!ぜひ、また旅行に行こう!」と思うのではないのでしょうか。では、この旅行が行き先も分からない、何をするのも分からないミステリーツアーだったらどうでしょう。きっと不安に思う人が多いでしょうし、そんな旅行なら行かないという人もいるでしょう。先が見えず予測ができないことに対して、不安を抱くのは当然です。

学校の教育活動は、旅行と似ています。授業においては、学習のめあてがはっきりと示され、そのめあてを達成できるような活動を計画的に行います。そうすることで、子どもは安心して学習に取り組むことができます。そして、その成果をしっかり振り返ると、次の学習への見通しが立ち、意欲に繋がっていきます。

また、本校では低・中学年は高学年のがんばる姿を見ながら、「高学年になったら自分もあのようにになりたい。」と見通しと憧れをもちながら活動しています。

一つ一つの経験が自分の財産となり、これが積み重ねることによって自信へと繋がっていくのです。自信がつけば、人生の中で必ず訪れるミステリーツアーにも不安にならずに挑戦し、楽しむこともできるようになるでしょう。これからも、見通しをもつことを大切にしながら、子どもに自信をつけられる教育活動を展開してまいります。

今年巳年です。へびは脱皮を繰り返しながら成長します。子どもたちが、心身共に一回りも二回りも大きく成長できるように教職員一同努めて参ります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

## ■2月の行事 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	土	週休日		×
2	日	週休日		×
3	月	表現教室② 5時間授業 お話しタイム(~3/3)	14:00	○
4	火	ALT	14:00 14:55	○
5	水		14:00	○
6	木	4時間授業 冬季避難訓練	12:45	○
7	金	冬のふるさと体験学習・給食試食会・PTA親子レク ALT	15:15	○
8	土	週休日		×
9	日	週休日		×
10	月	新一年生一日体験入学 4時間授業	12:45	○
11	火	建国記念の日		×
12	水	冬のふるさと・親子レク予備日 児童委員会	14:00 15:25	○
13	木	図書館バス	14:00	○
14	金	冬季避難訓練予備日	14:00	○
15	土	週休日		×
16	日	週休日		×
17	月	表現教室③	14:00 14:55	○
18	火	ALT	14:00	○
19	水	読み聞かせ	14:00	○
20	木		14:00 14:55	○
21	金	ALT	14:00	○
22	土	週休日		×
23	日	天皇誕生日		×
24	月	振替休日		×
25	火	ALT	14:00 14:55	○
26	水	児童会役員選挙	14:00	○
27	木	図書館バス	14:00 14:55	○
28	金	参観日・学級懇談 ALT	14:00	○

## ■ご協力ありがとうございました ～2学期末保護者アンケート結果～

2学期末にお願いした「保護者アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。

【保護者アンケート結果】(A 4点 B 3点 C 2点 D 1点)

項目	観 点	平均点	前回	前回との差
1	学校は、お子さんに応じた多様な授業や、他の子と学び合うような授業を行っている。	3.78	3.89	-0.11
2	学校は、お子さんの学力向上のために、やる気を育てる授業、分かるようになる授業、できるようになる授業を行っている。	3.78	3.78	0.00
3	学校はお子さんの自己肯定感や自己有用感を育むような教育を行っている。	3.44	3.89	-0.45
4	学校は、お子さんが失敗をおそれないで、安心して間違えることができるような学習集団づくりを行っている。	3.44	3.67	-0.23
5	学校は、お子さんが自ら考え、選択し、決定する力が育つような教育を行っている。	3.89	3.78	0.11
6	学校は、子どもの互いに認め合う気持ちと支え合う心が育つような道徳教育を行っている。	3.67	3.78	-0.11
7	学校は、お子さんの発達の段階を考慮しながら、お子さんが運動を好きになったり、体力を向上させたりすることにつながる教育を行っている。	3.44	3.67	-0.23
8	学校は、家庭・地域と協力しながら、ふるさとの自然・人・産業に関わる総合的・体験的な教育を行っている。	3.67	3.89	-0.22
9	学校は、公正に個別最適化され、お子さんのよさや個性を一層確実に育むため、ICT（タブレットなどの情報通信技術）を活用した教育を行っている。	3.44	3.67	-0.23
10	学校は、「いじめは絶対に許されない」という考え方で、いじめが起りにくい環境づくりを行い、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた取組を行っている。	3.89	3.78	0.11
11	学校は、家庭への情報発信や家庭との連携を十分行っている。	3.56	3.67	-0.11
12	学校は、お子さんのよさや個性を生かし、子ども同士がお互いを尊重し合う教育を行って	3.89	3.67	0.22

### 自由記述欄

- ・通えなかった分、どうなるか不安でしたが暖かく迎えてくださって感謝しています。今まで通り通える事がうれしいです。見守ってくださりありがとうございます。
- ・いつも子どもの様子を丁寧に教えていただき、また、親の想いもたくさん聞いていただき、ありがたく思っています。今後も、子どもにとってより良い方法を見つけるために、たくさん相談させてください。よろしく願います。
- ・いつもお世話になっております。来年度の学校行事に関してお伝えしたいことがあります。運動会や学芸会などに先生方の積極的な参加があれば嬉しく思います。子供たちと真剣に競技をしたり、演じたりすることは子供たちにはよい経験になるかと思えます。また放課後クラブでカヌーを中心に自然活動を行っていますが、時間が限られてしまうので、学校行事としての登山やキャンプなどができれば有難いです。どうぞよろしく願い致します。

【学校から】 今年度1回目と比較するとわずかに減少した項目が見られますが、すべての項目で平均3以上であり、学校の取組について肯定的に受け止めていただいております。家庭と学校が連携して教育活動を行うことができていると考えています。

3学期は、次の3点を中心に取組み、教育活動のさらなる充実を図っていきます。

#### ①項目3 自己肯定感や自己有用感を育む教育

学習や学級活動、学校行事等あらゆる場面で成功体験を重ねられるよう取組み、自己評価や相互評価の場面を設けることで自己肯定感や自己有用感を育てていきます。また、子どもたちの成長や努力の過程がわかるよう学校便りやホームページで情報発信し、家庭とより一層連携を図ります。

#### ②項目7 運動・体力向上

セカンドアタックについては、なわとび集会と実施予定時期が近いことから、2学期の実施を見送りました。3学期は、ウィンタースポーツに取り組んだり、雪遊びをしたりしながら体力向上につなげていきます。また、体育の授業において、一人ひとりが課題を設定し、技能等の習得に向けて努力できるようICTを効果的に活用するなど引き続き学習過程の工夫を図ります。

#### ③項目9 ICTの活用

学習形態や内容に合わせてアプリを利用することや、他者や他校との交流を行うなど、ICTを適切に活用することで、学習効果を高め、子どもたちのよさや個性を育てていきます。

温かいお言葉をいただきありがとうございます。ご意見があった内容についてご回答いたします。

・運動会について、教職員が少人数のため、運営や安全配慮に集中し、子どもたちが日頃の練習の成果を発揮できるようにしていきたいと考えています。学習発表会については、日常の学習成果の発表の場であり、子どもたちが主体的に取り組む様子を見ていただくため、教職員は必要に応じて参加したいと思っております。自然体験活動については、時数の関係で新たに行事を増やすことは難しいので、ふるさと体験学習の内容を見直したり、PTAと連携したりして内容を充実させていきます。